

Roger On™ (ロジャー オン)

取扱説明書



roger



A Sonova brand

PHONAK
life is on

目次

1. ようこそ	5
2. ロジャー オンについて	6
2.1 機器の説明	10
2.2 充電スタンド	11
2.3 アクセサリー	12
2.4 ディスプレイ	13
2.5 テクニカルデータ	14
3. ロジャー マイクロホンの充電	15
4. ロジャー オンの使用	18
4.1 ロジャー オンの電源を入れる	18
4.2 一般的な使用	19
4.3 卓上で使用	20
4.4 大きな騒音下で使用	21
4.5 話し手が離れている場合に集中	22
5. マイクロホン モードをロック	26
6. 消音モード	28
7. テレビその他の固定オーディオ機器の音を聞く	29
7.1 充電スタンドを設定	29
7.2 充電スタンドを使ってテレビの音を聞く	31

8. 携帯オーディオ機器の音を聞く	33
9. マイロジャーマイク アプリ	35
10. ネットワーク機能	36
10.1 補聴器またはロジャー受信機へ接続	36
10.2 別のマイクロホンに接続	38
10.3 ロジャー機器の接続を切断	40
11. 大きなグループで使用	42
11.1 複数のマイクロホンを使用	43
12. リセット	44
13. 輸送モード	45
14. お手入れとメンテナンス	46
15. トラブルシューティング	48
16. コンプライアンス情報	52
17. 記号の情報と説明	56
18. 安全に関する重要な情報	59
19. サービスと保証	66

この取扱説明書は以下のモデルに有効です。

ロジヤー オン

2021年 CE マーク申請

ロジヤー オン iN

2021年 CE マーク申請



1. ようこそ

ロジャー オンは、聞こえのソリューションにおける世界的企業のフォナック(本社:スイス チューリッヒ)が開発しました。

プレミアムクラスの製品として、何十年にもわたる研究と専門知識によって生み出され、難聴を抱える方が美しい音の世界とつながりを保てるよう設計されています。本製品をお選びくださいありがとうございます。これから長年に渡って音が聴こえる喜びを感じていただけましたら幸いです。

取扱説明書をよくお読みいただき、ロジャー オンをご理解の上、最大限にご活用ください。ロジャー オンおよびアクセサリーの機能、利点、設定、使用、メンテナンス、修理の詳細については、聴覚専門家や補聴器販売店にお問い合わせください。

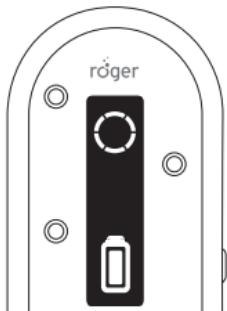
ロジャー オンまたはアクセサリーの修理サービスについては、聴覚専門家にお問い合わせください。

フォナック - life is on
www.phonak.com

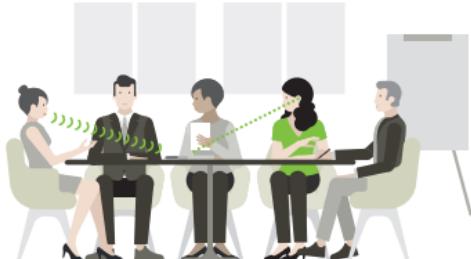
2. ロジャー オンについて

ロジャー オンは、話者の声を拾いワイヤレスで直接耳に送信します。ロージャー オンは、下記4つの場面で主に使用します。

卓上: ロジャー オンをテーブルの中央に置き、テーブルの周りに座っている人の話を聴きます。

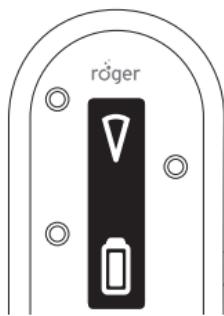


レストラン

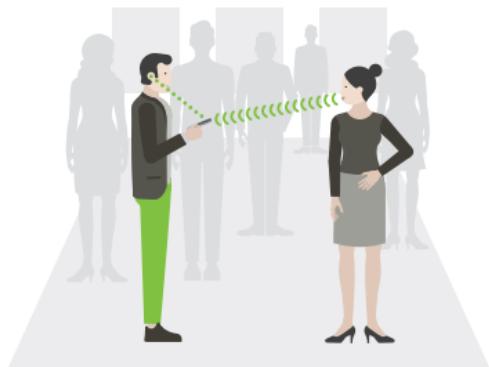


会議

インタビュー: 話者に向けてロジヤー オンを持ちます。

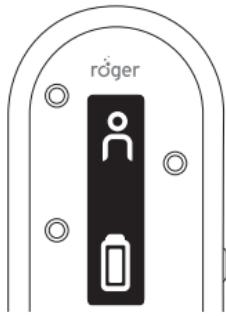


パーティー

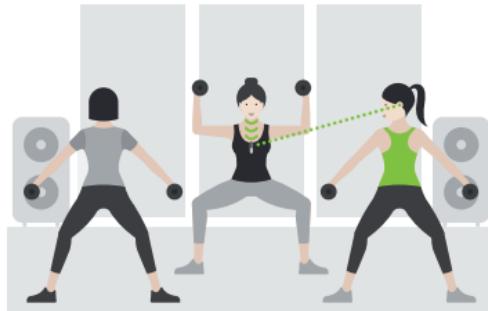


対面での会話

プレゼンター: 話し手が離れている場合、話者の胸元にロジヤー オンを取り付けるか、首からぶら下げます。

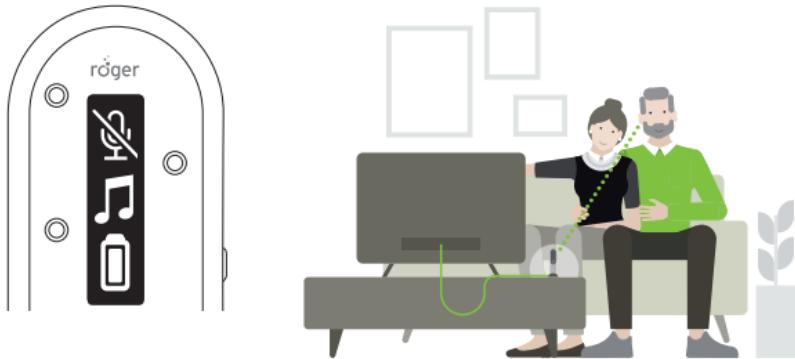


スピーチ/講義



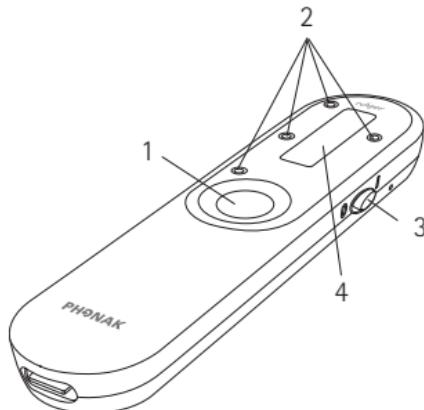
フィットネス

テレビ/マルチメディア：テレビなどの音源から音を直接耳にストリーミングします。

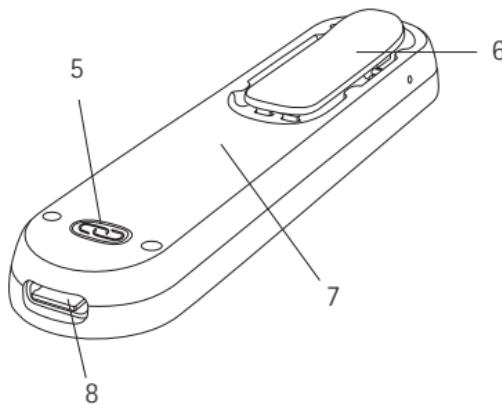


テレビ鑑賞

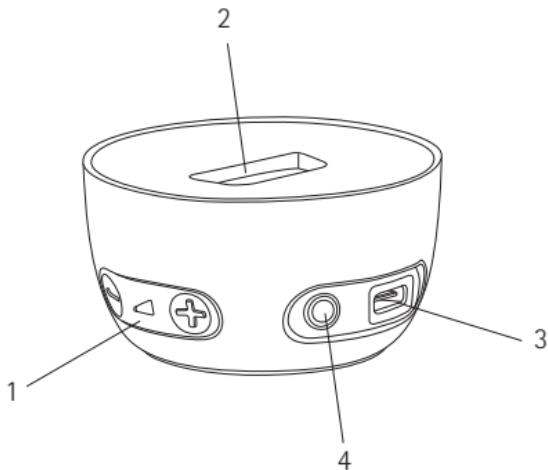
2.1 機器の説明



- | | |
|---------------|------------------|
| 1 機能ボタン | 5 接続ボタン |
| 2 マイクロホン4個 | 6 クリップ |
| 3 スライド式電源スイッチ | 7 内蔵電池 |
| 4 ディスプレイ | 8 USB タイプC コネクター |

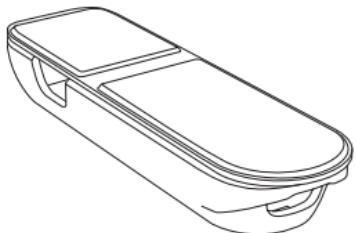


2.2 充電スタンド

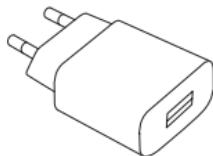


- 1 音声入力ボリュームコントロール
- 2 ロジャーオン用スロット
- 3 USB タイプC コネクター
- 4 音声入力(3.5 mm アナログ、光デジタル(トスリンク))

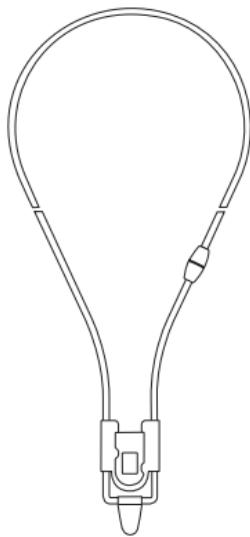
2.3 アクセサリー



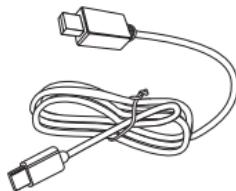
ケース



電源アダプタ



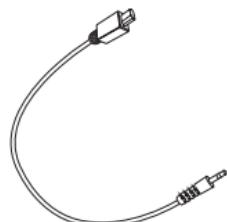
ストラップ



充電ケーブル

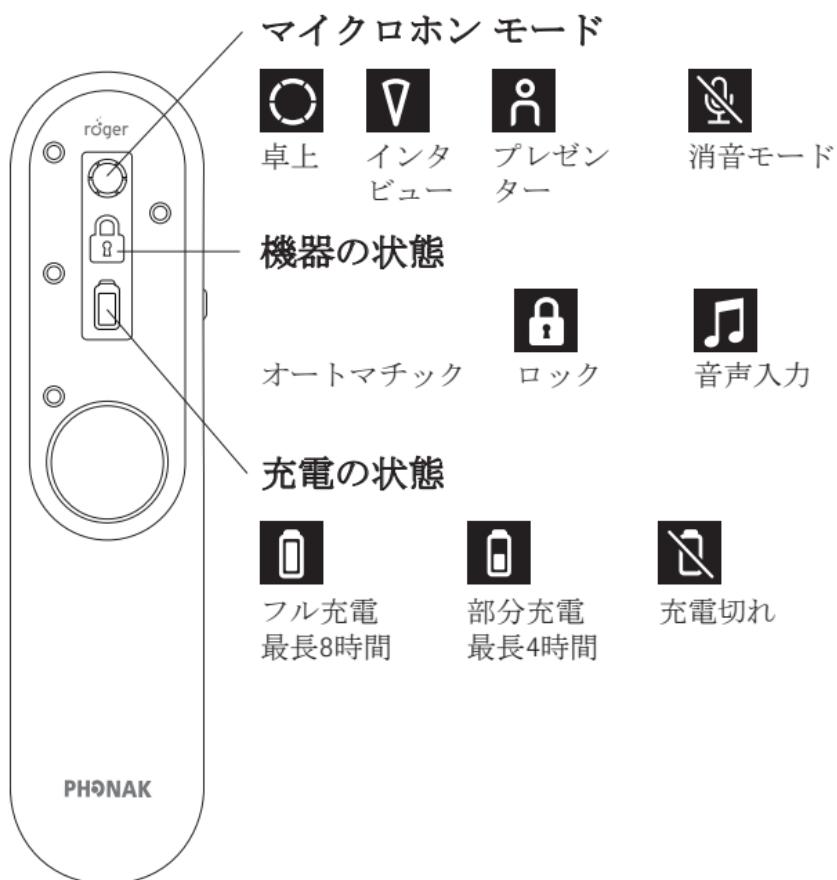


テレビ ケーブル



アナログ音声
ケーブル

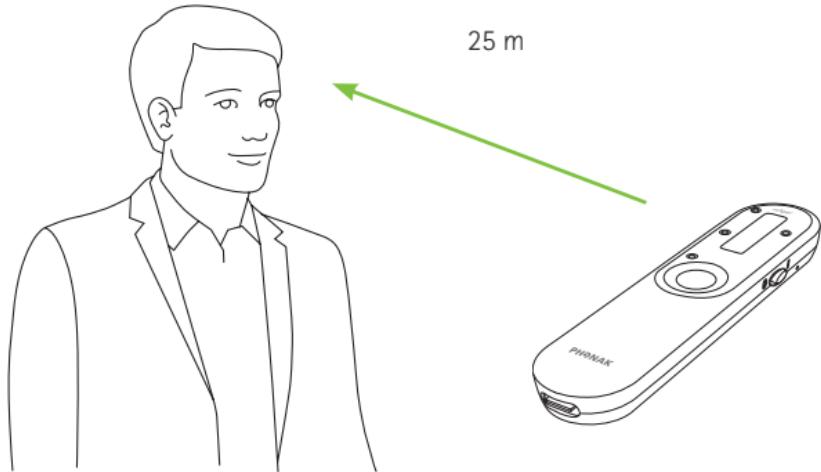
2.4 ディスプレイ



2.5 テクニカルデータ

範囲:

ロジヤーオンは、自分から25メートル以内に置くことができます。ただし、壁などの障害物があると、この距離が短くなる場合があります。利用可能な最長距離は、ロジヤーオンを見る能够性(直視できる)距離です。



充電の持続時間:

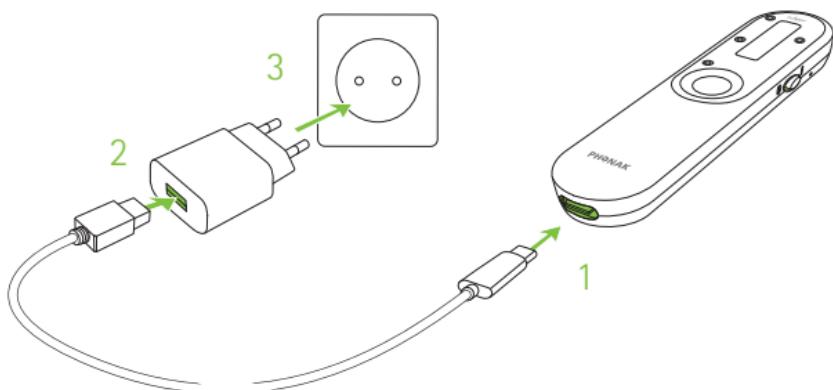
フル充電すると、通常は8時間のストリーミングが可能です。

3. ロジャー マイクロホンの充電

ロジャー マイクロホンを充電する方法は3つあります。

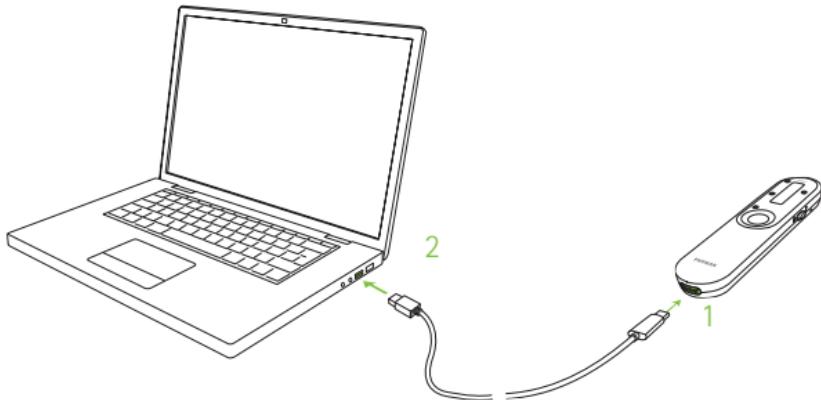
A) 電源アダプタを使用する方法

1. 充電ケーブルの小さい方の端(USB タイプ C)をロジャー マイクロホンに差し込みます。
2. 充電ケーブルの大きい方の端(USB タイプ A)を電源アダプタに差し込みます。
3. 外付け電源アダプタを壁のコンセントに差し込みます。



B)コンピューターまたはタブレットを使用する方法

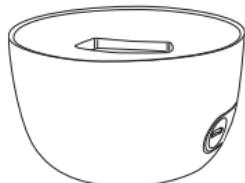
1. 充電ケーブルの小さい方の端(USB タイプ C)を ロジャー オンに差し込みます。
2. 充電ケーブルの大きい方の端(USB タイプ A)を コンピューターの USB ポートに差し込み、コンピューターの電源をオンにします。



C)充電スタンド経由

ロジャー オンを充電スタンドのスロットに入れます。

- ① 充電スタンドの設定について
は、第7.1章をお読みください。



充電に関する情報



充電中は、電池アイコンが動き続けます。



電池がフル充電されると、電池アイコンの動きが止まり、フル充電された電池が示されます。15分後、ディスプレイがオフになります。

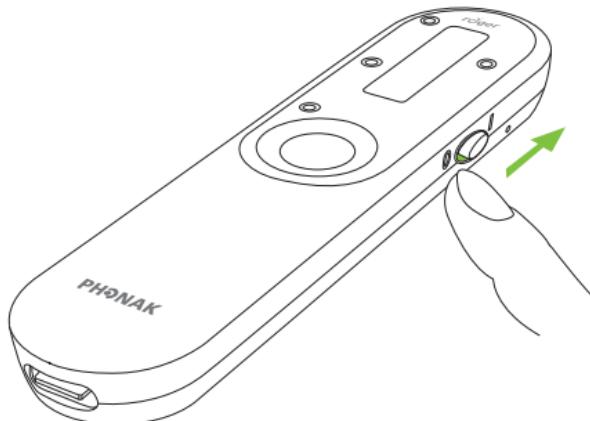
付属の充電器を使用した場合、ロジャー オンの充電状態は以下のようになります。

- 1時間後、80%充電
- 3時間後、100%充電

4. ロジャー オンの使用

4.1 ロジャー オンの電源を入れる

オン/オフスイッチをオンの位置に動かしてください。起動アニメーションが短時間表示された後、ロジャー オンが利用可能になります。



- ① 線の引かれた鎖型アイコン  が表示された場合は、最初に、第10章の説明に従って自分の補聴器またはロジャー受信機をロジャー オンに接続してください。

4.2 一般的な使用

ロジャー オンは多目的に使用できる製品です。周囲の状況を検出し、マイクロホンの設定を自動的に適応させます。

① ことばの理解を最良にするには、常にロジャー マイクロホンを会話の相手にできるだけ近づけてください。

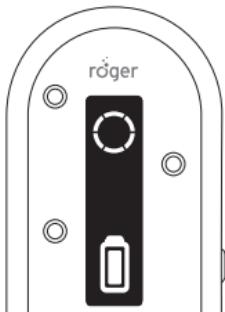
① ロジャー オンから話者の口までの距離が20 cm 以内となるように、ストラップの長さを調整してください。

4.3 卓上で使用

複数の人の話が聞けるように、ロジヤーオンをテーブルの中央に置きます。



マイクロホンはテーブルの周りにいる全員の話を拾い集めます。このモードは、ディスプレイ上に円で示されます。

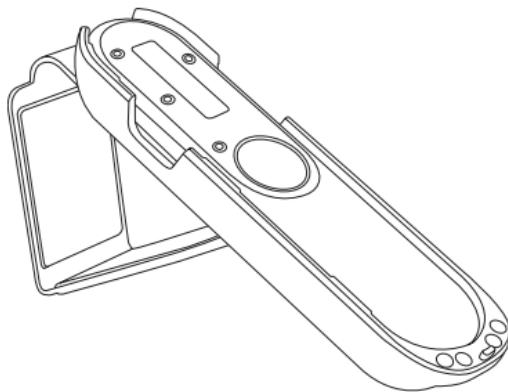


指向性方向操作にアプリを使用

マイロジヤーマイク アプリを使用すると、1人または複数の特定の話者に集中するため指向性方向を操作できます。アプリのダウンロード方法については、第9章を参照してください。

ケースのスタンド機構を使用

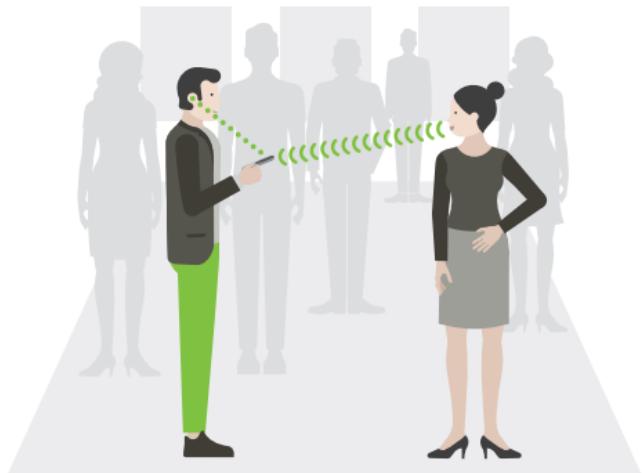
目の前の1人に集中する場合は、ロジヤーオンをケースに入れ、スタンド機構を使用して傾けることができます。



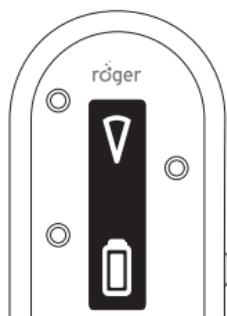
▼ スタンド機構を使用すると、マイクロホンは自動的にインタビューモードになります。

4.4 大きな騒音下で使用

ロジヤー オンを手に持って、関心のある話者に向けてください。

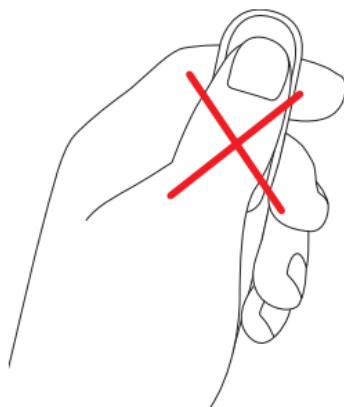


マイクロホンは自動的に幅の狭いビームを有効にし、向けた先の人の声を拾い上げます。このモードは、ディスプレイ上に三角形で示されます。



- ① ロジヤーオンは、かならず話者の口にまっすぐ
向けてください。

- ② ロジヤーオンを手に持つ際、マイクロホンの開
口部をふさがないようしてください。

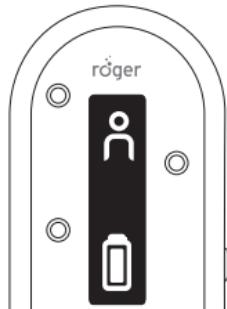


4.5 話し手が離れている場合に集中

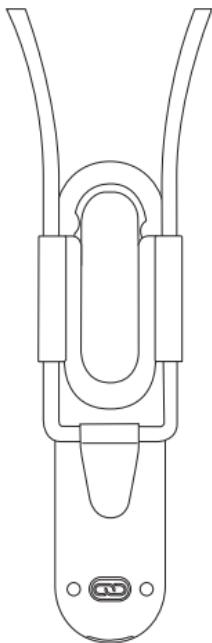
話し手が離れている場合に話をよく聞こえるよう
にするには、話者の胸元にロジヤー オンを取り付
けてください。



マイクロホンは、マイクロホン
を身に付けている人の話のみを
拾い上げます。このモードは、
ディスプレイ上に人型アイコン
で示されます。

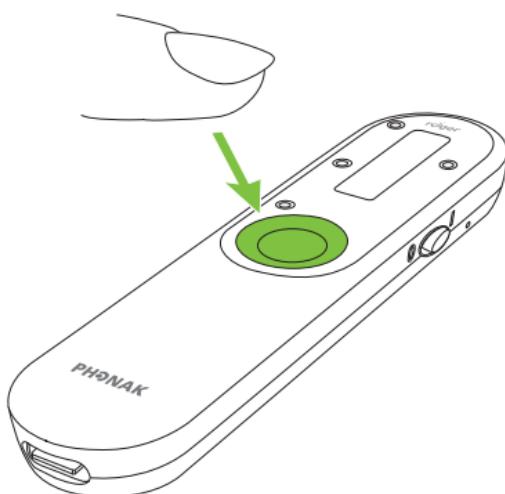


- ① あるいは、話し手が離れている場合、ロジャー オンを取り付けたストラップを話者の首に掛けしてください。

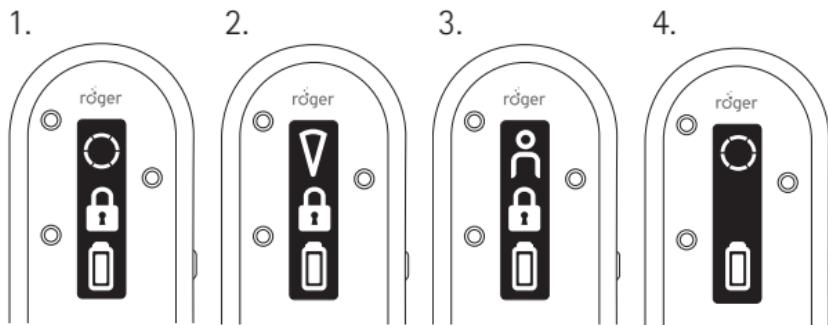


5. マイクロホン モードをロック

ロジヤー オンの配置とは無関係に、特定のマイクロホン モードにロジヤー オンを保つ場合は、マイクロホンをロックするマイクロホン モードになるまで、機能ボタンを繰り返し押します。



ロック モードは以下の順番で表示されます。

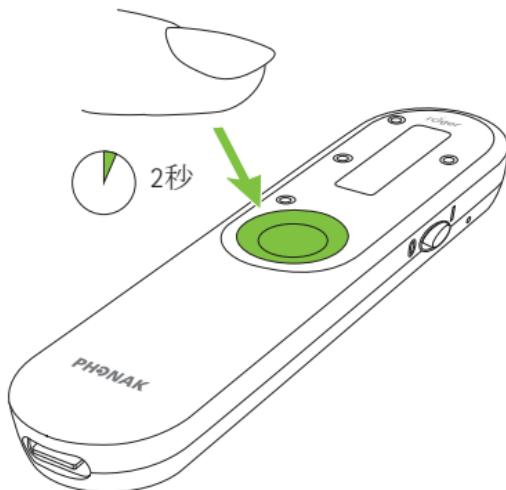


1. 卓上モード
2. インタビューモード
3. プレゼンターモード
4. ロック アイコンが表示されない場合は、ロジャー オンがオートマチック モードに戻っていることを意味します。

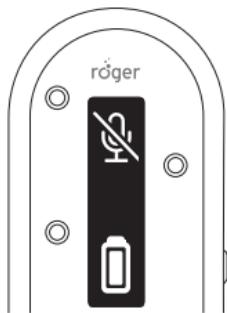
ロック アイコンは、マイクロホン モードがロックされていることを示します。

6. 消音モード

ロジャー オンを消音モードにするには、機能ボタンを2秒間長押ししてください。



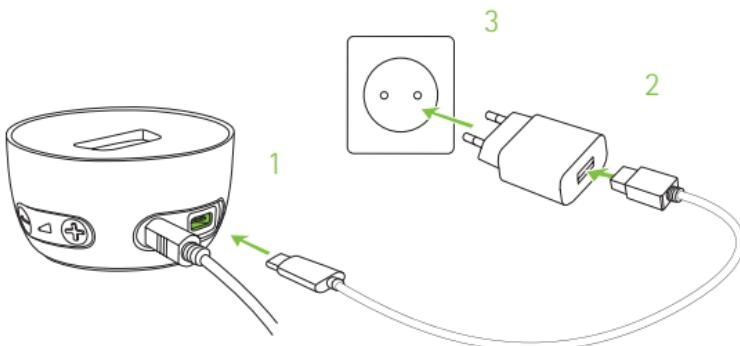
マイクロホンが消音モードになっていることは、ディスプレイ上に線の引かれたマイクロホンアイコンで示されます。マイクロホンの消音モードを解除するには、再度、機能ボタンを2秒間長押ししてください。



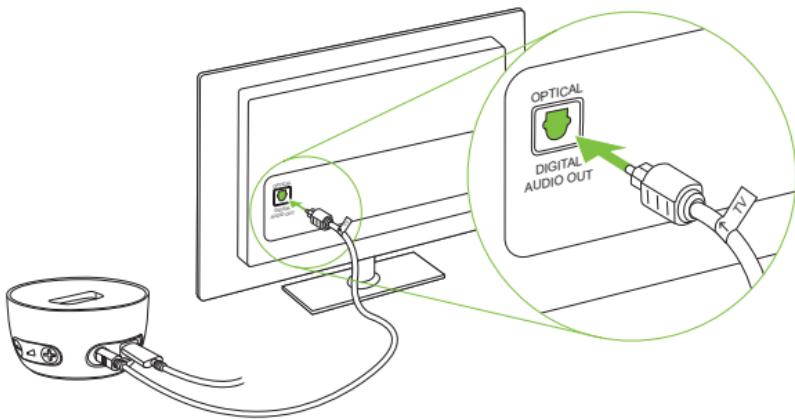
7. テレビその他の固定オーディオ機器の音を聴く

7.1 充電スタンドを設定

1. USB ケーブルの小さい方の端を充電スタンドのソケットに差し込みます。
2. USB ケーブルの大きい方の端を外付け電源アダプタに差し込みます。
3. 外付け電源アダプタを壁のコンセントに差し込みます。



4. トスリンク光ケーブルの接続されていない方の端を、テレビその他のオーディオ機器の光出力に接続します。

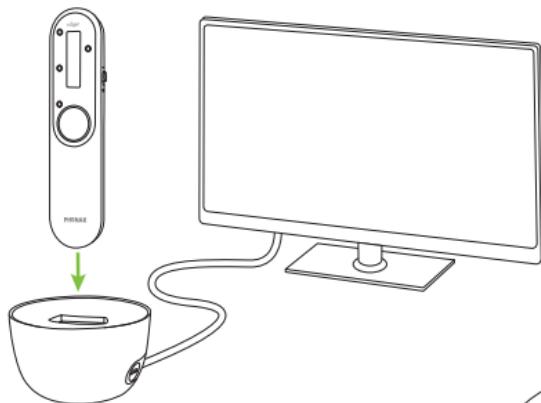


① 機器やテレビに接続するときは、トスリンク光ケーブルから出力される光に対して目を保護してください。

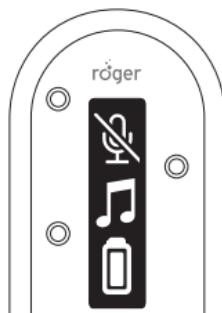
① テレビその他のオーディオ機器に光音声出力がない場合は、アナログ音声ケーブルを使用してテレビと充電スタンドを接続してください。アナログ音声ケーブルについては、聴覚専門家にお問い合わせください。

7.2 充電スタンドを使ってテレビの音を聴く

1. ロジャーマイクロホンを充電スタンドに差し込みます。
2. テレビ(またはその他のオーディオ機器)のスイッチを入れます。ロジャーマイクロホンが自動的に音声信号を耳に送信します。



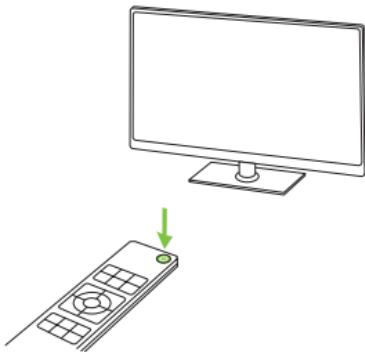
このモードは、ディスプレイ上に音符アイコンで示されます。



3. 充電スタンドの +/- ボタンを使い、好みに合わせて音量を調整します。

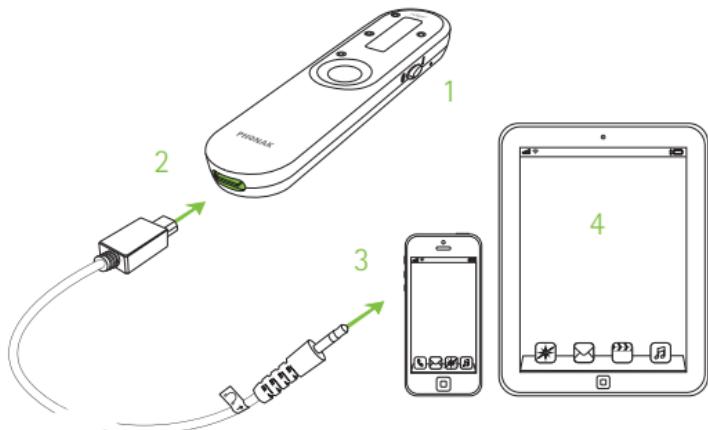
① ロジヤーマイクロホンは、テレビ信号を送信するとき、自動的に消音モードになります。ロジヤーマイクロホンのスイッチを入れ、機能キーを押すことで、マイクロホンを有効にできます。テレビ信号とマイクロホンを同時に聞けるようになります。

音声信号の送信を終了するには、テレビ(またはその他のオーディオ機器)のスイッチを切るか、ロジヤーマイクロホンを充電スタンドから取り出します。



8. 携帯オーディオ機器の音を聴く

1. ロジャーマイクロホンのスイッチが入っていることを確認します。
2. 短い音声ケーブルの形状が四角い方の端をロジャーマイクロホンに差し込みます。
3. 短い音声ケーブルの形状が丸い方の端を、携帯機器のヘッドホン出力に差し込みます。



4. 携帯オーディオ機器上で音楽または音楽アプリを起動します。

① ロジャーマイクロホンは、音声ケーブルが差し込まれていると、自動的に消音モードになります。センタータッチキーを押すと、マイクロホンを有効にできます。オーディオ機器とマイクロホンを同時に聞けるようになります。

音声信号の送信を終了するには、音声ケーブルを抜くか、ロジャーマイクロホンのスイッチを切ります。

9. マイロジャーマイク アプリ



PHONAK

マイロジャーマイクアプリを使用すると、スマートフォンからロジャー オンを遠隔制御できます。

下記の操作が可能です。

- 指向性方向の調節
- マイクロホンモードの変更
- 消音モードのオン/オフ
- 充電残量、使用中のマイクロホンモードなど、現在の機器状態の確認

スマートフォンをロジャー オンに接続するには、スマートフォンで Bluetooth® LE に対応している必要があります。マイロジャーマイクアプリは、Google Play および App Store からダウンロードできます。



アプリの詳細については、マイロジャーマイクアプリの取扱説明書(www.phonak.com からダウンロード可能)をお読みください。

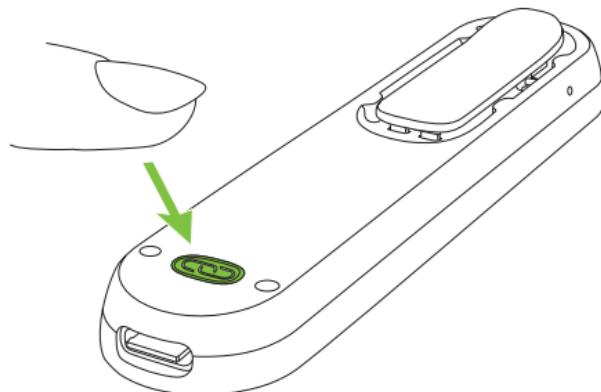
Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
Sonova は、使用許可を得てこれらのマークを使用しています。
Apple App Store のロゴは、Apple Inc. の商標です。
Google Play ストアのロゴは、Google LLC の商標です。

10. ネットワーク機能

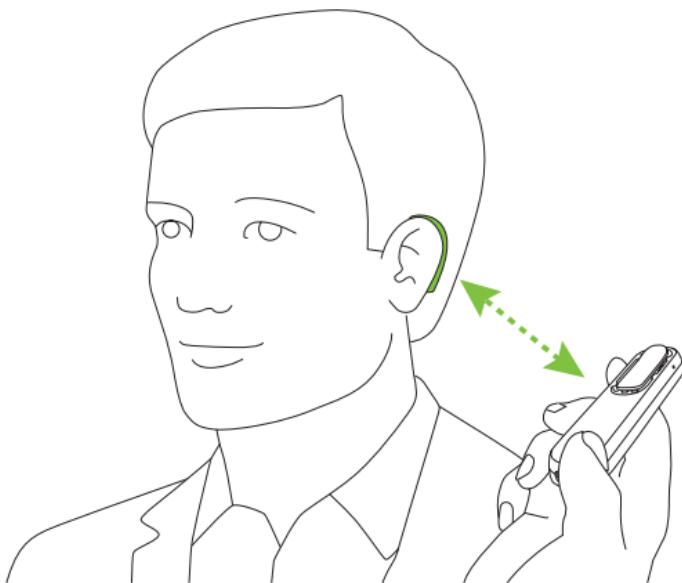
10.1 補聴器またはロジャー受信機へ接続

インストールされたロジャーまたはロジャー受信機を使用してロジャー オンを補聴器に接続するには、下記の手順に従ってください。

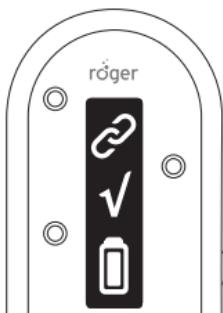
1. ロジャー オンと補聴器のスイッチを入れます。
2. ロジャー オンの裏面にある接続ボタンを押します。



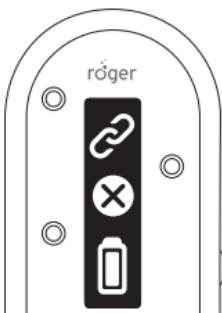
3. ロジャー オンを補聴器またはロジャー受信機
から10 cm 以内の近い位置で持ちます。



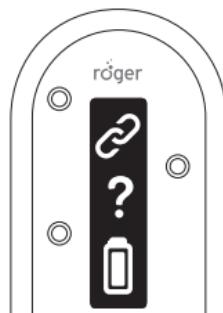
4. ロジャー オンのディスプレイに表示される
フィードバックをご確認ください。



接続に成功
しました



受信機が対応
していません



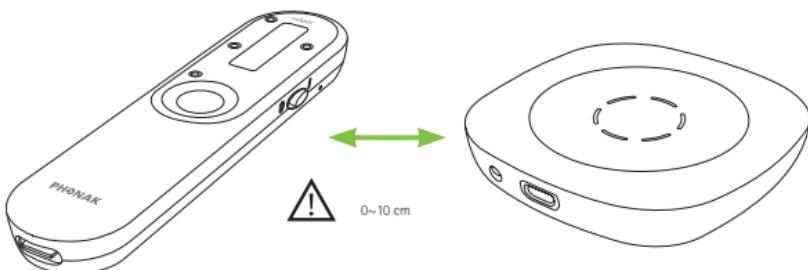
受信機が見つか
りません。近づ
いてください。

- ① 受信機への接続は、1回のみ必要です。補聴器/
ロジャー受信機は再起動しても、マイクロホン
と接続した状態になります。

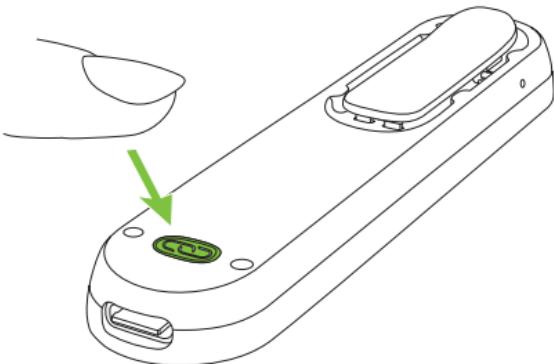
10.2 別のマイクロホンに接続

対応する別のロジャー マイクロホンをロジャー オンに接続するには、下記の手順に従ってください。ひとつのネットワーク内で複数のマイクロホンを使用する方法を学ぶには、第11章を参照してください。

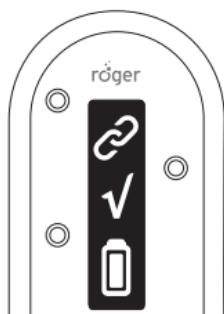
1. 両方のロジャー マイクロホンのスイッチを入れます。
2. ロジャー オンをもう一方のロジャー マイクロホンから 10 cm 以内の近い位置で持ちます。



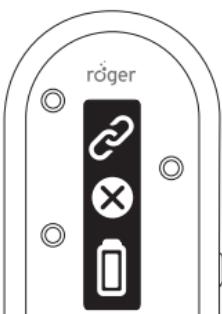
3. ロジャー オンの接続ボタンを押します。



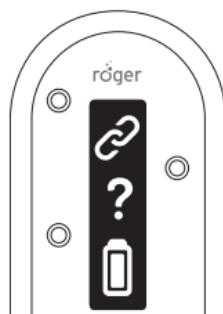
4. ロジャー オンのディスプレイに表示される
フィードバックをご確認ください。



接続に成功
しました



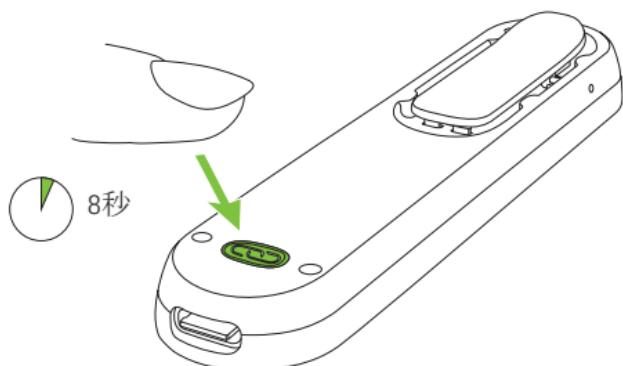
機器が対応
していません



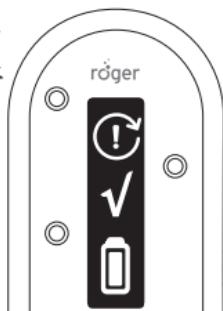
機器が見つかり
ません。近づい
てください。

- ① 他のマイクロホンへの接続は、1回のみ必要です。その他のマイクロホンは再起動しても、ロジャー オンと接続された状態になります。

10.3 ロジャー機器の接続を切断

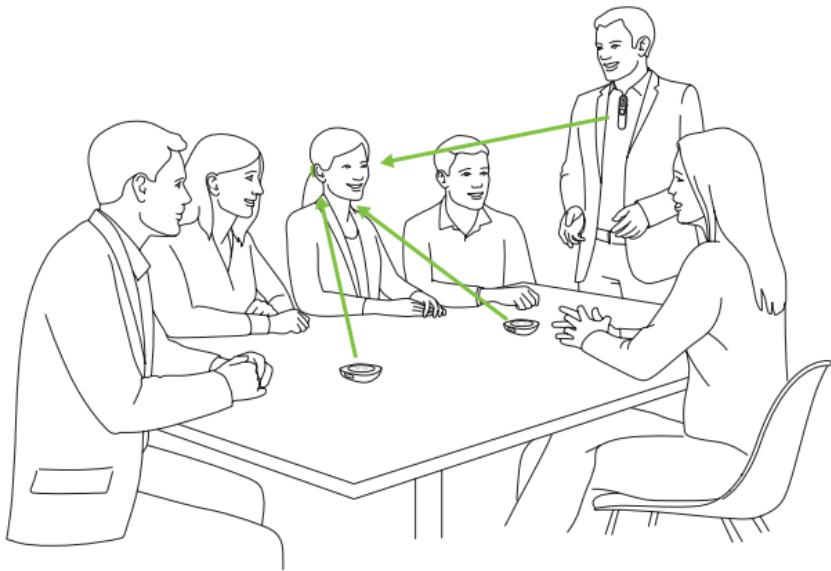


接続中の受信機その他のロジャー マイクロホンからロジャー オンを切断するには、ディスプレイ情報で切断を確認できるまで「接続」ボタン  を長押しします(8秒間)。



11. 大きなグループで使用

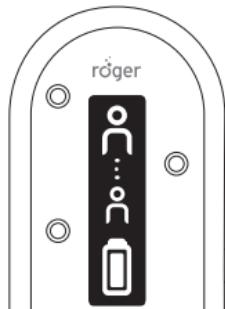
ロジヤー オンは、ロジヤー テーブルマイク II その他のロジヤーマイクロホンと組み合わせることができます。他のマイクロホンを接続する方法については、第10章を参照してください。



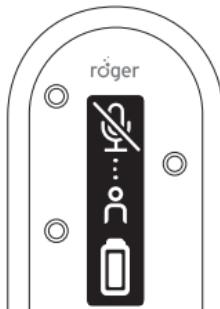
複数のマイクロホンを使用すると、グループが大きくなったり、離れたところにいる話者が複数になったりしても、声を聞くことができます。

11.1 複数のマイクロホンを使用

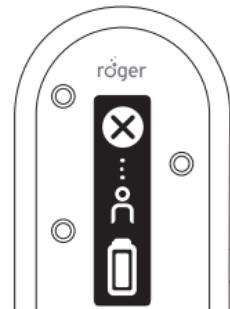
ロジャー オンをその他のマイクロホンと共に使用するときは、話者がロジャー オンを胸元に装着する必要があります。ロジャー オンをテーブルの上に置くか、手に持つと、自動的に消音モードになります。センター ボタンを2秒間長押ししてロジャー オンの消音モードを解除すると、ロジャー オンに接続している他のマイクロホンは遮断されます。ロジャー オンを消音モードにすると、他のマイクロホンが再び有効になります。



ロジャー オンは、
その他のロジャー
マイクロホン1つ以
上に接続されてい
ます。



ロジャー オンは、
テーブルの上に置い
たり、手に持ったり
すると自動的に消音
モードになります。



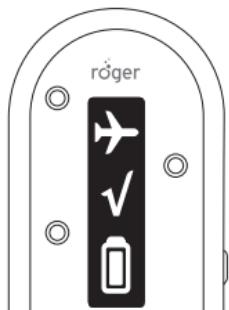
ロジャー オンは、
ネットワーク内の
他のロジャーマイ
クロホンにより遮
断されます。

12. リセット

ロジヤー オンがコマンドに応答しなくなった場合は、センター ボタンと接続ボタン  を同時に10秒間長押しすることで、ロジヤー オンをリセットできます。

13. 輸送モード

修理のためにロジャー オンを送り返す必要がある場合は、機器を輸送モードにすることをお勧めします。輸送モードにするには、接続ボタンを長押ししてから、機器のスイッチを切ってください。以下のディスプレイ表示から輸送モードを確認できます。



14. お手入れとメンテナンス

ロジヤーマイクロホンおよびアクセサリーを日常的にこまめに手入れすることによって、優れたパフォーマンスと長い耐用期間が得られます。長期の保守対応を保証するために、Sonova Communications AG では、各ロジヤーマイクロホンの製造中止後も最低5年間の保守対応期間を設けています。

- ① 使用する前に、ロジヤーマイクロホン、充電スタンド、および充電器ケーブルが乾燥しており、汚れていないことを常に確認してください。

一般的な情報

ロジヤーマイクロホンには、防滴防塵保護が施されています。ロジヤーマイクロホンが水、汗、ほこりに触れた後には、清掃し、乾燥させてください。

清掃手順

糸くずの出ない布を使用して表面を清掃します。ロジャーマイクロホンを清掃する際に、洗浄剤(家庭用洗剤、石鹼など)は絶対に使用しないでください。水で洗い流すことは推奨されません。ロジャーマイクロホンを徹底的に清掃する必要がある場合は、聴覚専門家にお問い合わせください。

充電スタンドについては、充電スロットとポートが汚れていないことを確認してください。充電スロットからほこりや汚れを取り除きます。充電スタンドを清掃する際に、家庭用洗剤、石鹼などは絶対に使用しないでください。

15. トラブルシューティング

状況	原因
ロジヤーマイクロホンのスイッチが入りません。	充電切れです。
ロジヤーマイクロホンから音が聞こえません。	ロジヤーマイクロホンが消音モードになっています。
	ロジヤーマイクロホンがロックされています。
	お使いのロジヤー受信機がロジヤーマイクロホンに接続されていません。
話者の声は聞こえますが、話している内容を理解できません。	ロジヤー受信機が動作していません。
	補聴器が正しいプログラムに設定されていません。
	マイクロホンが話者から遠すぎます。
	マイクロホンの開口部が指で覆われています。
	マイクロホンの開口部が汚れで覆われています。
	ロジヤーのマイクロホンモードがロックされています。

解決策

ロジャーマイクロホンを2時間以上充電してください。

センター ボタンを2秒間長押しして、ロジャーマイクロホンの消音モードを解除してください。

オートマチックマイクロホンモードに切り替えてください。
またはマイクロホンを適切なモードにロックしてください。

ロジャーマイクロホンを各ロジャー受信機またはロジャー対応補聴器の近くで持ち、接続ボタンを押してください。

お使いの補聴器にロジャー受信機が取り付けられ、電源が入っていることを確認してください。

お使いの補聴器が正しいプログラム(Roger/FM/DAI/EXT)に設定されていることを確認してください。

ロジャーマイクロホンを話者の口に近づけてください。

開口部を覆わないようにマイクロホンを持ってください。

マイクロホンの開口部を清掃してください。

オートマチックマイクロホンモードに切り替えてください。
またはマイクロホンを適切なモードにロックしてください。

状況

音声信号を受信しません。

雑音が多すぎます。

ロジャーマイクロホンで
自声音を聞きたくありま
せん。

マルチメディア機器の
音量が小さすぎます。

マルチメディア機器の
音が聞こえません。

ロジャーマイクロホン
が動作を停止し、どのボ
タンを押しても反応しま
せん。

原因

あなたとロジャーマイクロホン
との距離が遠すぎます。

あなたとロジャーマイクロホン
との間に障害物があります。

ロジャーマイクロホンが雑音を
拾います。

ロジャーマイクロホンが自声音
を拾っています。

不適切な音量設定です。

音源が消音モードになってい
ます。

ロジャーマイクロホンのスイッ
チがオフになっています。

音声ケーブルが正しく差し込ま
れていません。

ソフトウェアの問題です。

解決策

ロジヤーマイクロホンの近くに移動してください。

ロジヤーマイクロホンを直視できる位置にいるようにしてください。または、ロジヤーマイクロホンの近くに移動してください。

インタビューモードに切り替え、ロジヤーマイクロホンを話者の方に向けてください。

マイロジヤーマイク アプリで、自分の方向の指向性を無効にしてください。

ロジヤーマイクロホンの充電スタンドで音量を大きくしてください。または、音源の音量を大きくしてください。

音源の消音モードを解除してください。

ロジヤーマイクロホンのスイッチを入れてください。

音声ケーブルを正しく差し込んでください。

機能ボタンと接続ボタンを同時に10秒間長押しして、
ロジヤーマイクロホンをリセットしてください。

16. コンプライアンス情報

欧州:

適合宣言

本製品が無線機器指令2014/53/EU に準拠していることを Sonova Communications AG はここに宣言します。EU 適合宣言の全文は、製造業者または地域のフォナック担当者から入手できます。住所については、<https://www.phonak.com/com/en/certificates.html> (フォナックの世界の所在地)のリストをご覧ください。

動作周波数: 2400-2483.5 MHz

出力レベル: 100 mW 未満

オーストラリア/ニュージーランド:



ニュージーランドおよびオーストラリアでの合法販売について、適用される電波スペクトル管理(RSM)およびオーストラリア通信メディア庁(ACMA)の規制協定への機器の準拠を示します。

準拠ラベル R-NZ は、適合レベル A1においてニュージーランド市場で供給される無線製品を対象とします。

FCC ID: KWCTX33
IC: 2262A-TX33

注記1:



本機器は、FCC 規則第15部およびカナダ産業局の RSS-210に準拠しています。本機器の動作には、次の2つの条件が必要です。

- 1)本機器が干渉を生じないこと、および
- 2)本機器が機器の好ましくない動作を生じる可能性のある干渉を含むあらゆる干渉に対応すること。

注記2:

本機器に対し、Sonova Communications AG によって明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本機器の操作に対する FCC の認可が無効になることがあります。

注記3:

本機器は FCC 規則第15部およびカナダ産業局の ICES-003に従ってクラス B デジタル機器に対する制限事項に対して試験されており、それに準拠することが確認されています。

これらの制限事項は、住宅への設置において有害な干渉から合理的に保護されるように設計されています。本機器は無線周波エネルギーを生成し、使用し、また無線周波エネルギーを放射する可能性があり、指示に従って設置され、使用されない場合には無線通信に有害な干渉を生じることがあります。ただし、その干渉が特定の設置で発生しないという保証はありません。機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を生じる場合、これは機器の電源を切ってまた投入するとわかりますが、ユーザーは以下の手段いずれかによって干渉を是正するよう奨励されます。

- 受信アンテナの向きを変えるか位置を変える。
- 機器と受信機の距離を離す。
- 機器を受信機が接続されているのとは違う回路で出力に接続する。
- 取扱店または専門のラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

注記4:



日本の電波法に準拠。事業法に準拠。本機器は、日本の電波法に従って認可されています。本機器を改造しないでください(改造すると認可された指定番号が無効になります)。

注記5:

FCC/カナダ産業局 RF 放射線被ばく声明。本機器は、非管理環境に対して設定された FCC RF 放射線被ばく限度に準拠しています。この送信機をその他のいかなるアンテナや送信機とも同じ場所に配置したり、同時に動作させたりしないでください。

17. 記号の情報と説明



CE マークは、Sonova Communications AG によって本製品が無線機器指令 2014/53/EU に準拠していることを確認するものです。



この記号は、ユーザーがこの取扱説明書の関連情報を読んで考慮することの重要性を示しています。



機器の製造業者を示します。



この記号は、ユーザーがこの取扱説明書の関連する警告内容に注意を払うことの重要性を示しています。



製品の安全性および取り扱いに関する重要な情報です。

動作条件

機器は、本取扱説明書で別に記載のない限り、目的通りに使用されれば問題や制限なく機能するように設計されています。



搬送温度と保管温度: -20°C ~ +60°C。
動作温度: -0°C から +40°C。



水濡れ厳禁。



搬送および保管中の湿度: <90%
(結露なし)。
動作湿度: <90% (結露なし)。



大気圧: 500 hPa ~ 1060 hPa。



特定の機器を識別する製造業者の
シリアル番号を示します。



製造日を示します。



梱包材と取扱説明書はリサイクル可能
です。



製品やその梱包上にこのマークがある場合、その他の家庭ごみと共に廃棄できないことを意味します。機器はユーザー自身の責任で市の廃棄物とは別に廃棄してください。古い電化製品は、正しく廃棄すれば環境や人の健康に悪影響をもたらさないようにできます。本製品には、内蔵された交換できない電池があります。製品を開けたり、電池を取り出そうとしないでください。けがをしたり、製品を損傷することがあります。電池の取り出しについては、地域の再生利用施設にお問い合わせください。

18. 安全に関する重要な情報

機器の使用前に、以降のページに記載されている情報をお読みください。

18.1 危険警告

- △ 本機器は、3歳未満のお子様にはご利用いただけません。お子様が飲み込むとのどに詰まってしまうような小さな部品があります。お子様や知的障害者、ペットなどの手の届かないところに保管してください。飲み込んでしまった場合は、直ちに医師または病院の診察を受けてください。
- △ 本機器は、磁場を発生させる場合があります。ロジヤーオンが埋め込み型装置(ペースメーカー、除細動器など)に影響を及ぼした場合には、ロジヤーオンのご使用をやめ、医師または埋め込み装置の製造業者にお問い合わせください。
- △ ユーザーに合わせて聴覚専門家が特別にプログラムした補聴器のみをお使いください。

- △ 本機器を使用すると、背景雑音が小さくなることがあります。車などが発する警告音や雑音が、部分的または完全に抑えられることに注意してください。
- △ 電気部品は、地域の規制に従って廃棄してください。
- △ Sonova Communications AG によって明示的に承認されていない本機器のいかなる部分の変更または改造も禁止されています。
- △ Sonova Communications AG が承認したアクセサリーのみを使用してください。
- △ Sonova Communications AG が提供する充電器は、ロジャー オンを5000 m 以下の高度で充電するために使用可能です。安全上の理由から、Sonova Communications AG が提供する充電器、または定格5 VDC、500 mA 以上、2000 mA 以下、高度2000 m 以下の IEC 62368認証を受けた充電器のみを使用してください。

- △ 本機器は、爆発性領域(鉱山や爆発の危険のある工業地域、酸素が豊富な環境や引火性の麻酔薬を取り扱う場所など)や、電子機器が禁止されている場所では使用しないでください。
- △ 機械を操作するときは、ご利用のロジャー機器のいかなる部分も機械に挟まないようにしてください。
- △ 機器を身体に装着したまま充電しないでください。
- △ 充電中は、本機器を布などで覆わないでください。
- △ 本機器は2.4 GHz から2.48 GHz までの高周波数帯で動作します。飛行機を利用する際は、機器の電源をオフにする必要があるかどうか航空会社に確認してください。
- △ 電気的な危険の可能性があるため、資格のある担当者のみが本製品およびアクセサリーを開けることを許されています。

18.2 製品の安全に関する情報

- ① 機器のコネクタ、プラグ、電源は汚れや堆積物から保護してください。
- ① 機器を各種ケーブルに接続するときは、力を入れすぎないように気を付けてください。
- ① 機器は過剰な湿気(浴場や遊泳区域)や熱源(ラジエーター)から保護してください。機器を過剰な衝撃や振動から保護してください。
- ① 機器は、湿らせた布で掃除してください。機器の掃除には、家庭用洗剤(粉末石鹼、石鹼など)やアルコールを決して使用しないでください。電子レンジやその他の加熱機器を使用して機器を乾燥させることは決してしないでください。
- ① X線放射、CT、MRIスキャンによって機器の正しい機能が破壊されたり、悪影響が及ぶことがあります。

- ① 本機器および充電スタンドが乾燥しており、汚れていないことを、常に確認してください。
- ① 本機器を長期間使用しない場合は、乾燥した場所で保管してください。
- ① 不適切な動作につながる場合があるため、本機器をその他の機器と隣り合わせたり積み重ねたりして使用することは避けてください。そのような使用が必要な場合は、本機器とその他の機器を監視し、正常に動作することを確認する必要があります。
- ① 電磁調理器の表面の近くに充電アクセサリーを置かないでください。充電アクセサリー内部の導電構造が誘導エネルギーを吸収し、熱による破壊を生じるおそれがあります。
- ① 本機器は防滴保護が施されていますが、防水ではありません。

- ① 本機器には、リチウムイオン電池が内蔵されています。本機器は、預け入れ荷物に含めではなくなりませんが、機内持ち込み手荷物として持ち込めます。
- ① 本機器を飛行機で輸送する場合は、リチウムイオン電池の安全輸送に関するすべての規則および規制が適用されます。欠陥が疑われる電池は、空輸すべきではありません。
- ① 充電器の USB ポートは、記載された目的にのみ使用する必要があります。
- ① 機器を落としたり損傷させたり、過熱したり、コードやプラグが損傷していたり、液体の中に落としちまったりした場合は、機器のご使用をやめ、公認サービスセンターにお問い合わせください。

18.3 その他の重要な情報

- ① 機器やテレビに接続するときは、トスリンク光ケーブルから出力される光に対して目を保護してください。
- ① 高出力電子機器、大型の電子装置、金属構造は、機器の動作範囲を損なったり、大きく低下させることができます。
- ① 機器は内部技術データを収集し、保存します。聴覚専門家は、このデータを読み出して機器をチェックし、ユーザーが機器を正しく使用できるようにすることができます。
- ① 接続された受信機へ本機器から送信されるデジタル信号は、マイクロホンのネットワークに入っていないその他の機器には伝わりません。

19. サービスと保証

19.1 日本国内における保証期間

日本国内における保証期間については、機器を購入した販売店にお問い合わせください。

19.2 国際保証

フォナックでは、ご購入日から1年間有効の限定国際保証を提供しています。この限定的保証は、製造上および材料上の欠陥を対象とします。また、購入証明が掲示された場合にのみ有効です。

国際保証は、日本国内における保証や消費者製品の販売を管理する適用可能な国の法令の下にユーザーが有する法的権利には一切影響しません。

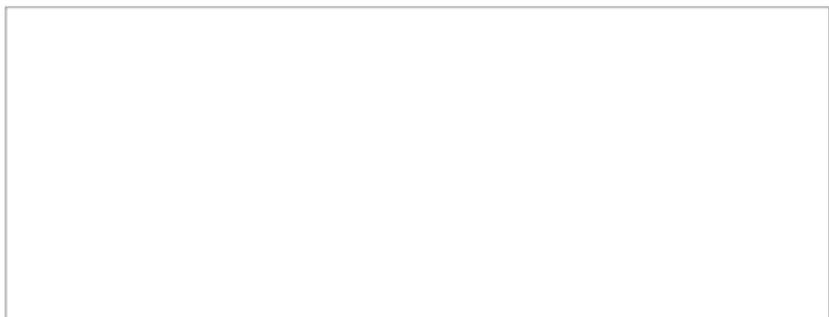
19.3 保証適用範囲

本保証は、不適切な取り扱いやお手入れ、化学薬品にさらしたり、浸水、過度の負担によって生じた損傷には適用されません。第三者または公認でないサービスセンターによって損害が生じた場合、保証は無効となります。本保証は、聴覚専門家がオフィスで行うサービスには適用されません。

シリアル番号: _____

購入日: _____

担当聴覚専門家
(捺印/署名):



注



製造元:

Sonova Communications AG
Herrenschwandweg 4
CH-3280 Murten
Switzerland
www.phonak.com

sonova
HEAR THE WORLD

